

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	良好な地域環境づくり		
	施策	1	環境保全		
				地域環境部	田中 明子

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 環境保全活動に参加したことのある市民の割合が横ばい状況であり、活動に参加する人が固定化していると思われます。
- 美化活動への参加者の高齢化が進む中、活動を継続・拡大していくために、若年層への参加を促していく必要があります。

2. 施策の基本方針

Plan

- 地球温暖化などの環境問題を踏まえ、低炭素社会の実現、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量・再資源化による循環型社会の構築などの取組とともに、緑豊かな自然環境を大切に守り育て、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりに取り組みます。
- 「なばり快適環境プラン」に基づき、市民の環境保全意識の醸成に努めるとともに、市民・事業者・行政が協働して、環境保全に積極的に取り組みます。
- 清掃活動等の美化運動を市民ぐるみで展開するなど、身近な環境美化意識を醸成するとともに、ごみのポイ捨て防止などマナーやモラルの向上、不法投棄防止対策に取り組み、清潔で美しいまちづくりを目指します。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合 (%)	目標	-	-	-	70.0	
	成果	66.2	69.9	66.4	68.8	68.4%
環境教育の推進 (回)	目標	-	-	-	15	
	成果	8	10	15	11	42.9%
地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数 (人)	目標	-	-	-	10,000	
	成果	6,749	7,393	5,290	4,928	0.0%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan Do

- ・名張クリーン大作戦は、平成28年度に伊勢志摩サミット「おもてなし作戦」として実施し6000人以上の参加があった以降は、参加者が4600人台に落ち着いています。
- ・環境学習については、小学校を中心に、地域づくり組織の学習会などで、「ごみの減量化」「食品ロスの削減」「地球温暖化防止」について実施しました。
- ・公害防止協定については、法令の基準値遵守は当然のこと、基準値の範囲内にあっても企業努力として周囲の生活環境に負荷を与えない数値を設定するように求め、交渉しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・名張クリーン大作戦の参加者数が横ばいだったことから、新たな参加者に興味を持ってもらえる内容にする必要があります。
- ・環境学習については、小中学校や地域づくり組織を中心に、実施の回数・内容の更なる充実を図ります。
- ・公害防止協定の見直しは、事業者と調整を図り進める必要があります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で清掃・美化行動が実施できるよう協力体制を整え、名張クリーン大作戦やその他環境美化行動への参加者の拡大に繋ぐことで、清潔で美しいまちづくりを目指します。
- ・環境学習会を重ねることで、学校や地域づくり組織を快適に暮らせるまちづくりのための新たな情報発信源とし、市民への更なる啓発を目指します。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

環境学習を通じた環境保全の意識啓発に努めるとともに、名張クリーン大作戦などの美化活動が行いやすい環境づくりに取り組むこと。